



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 関西ペイント株式会社 上場取引所 東
コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 毛利 訓士
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 富岡 崇 TEL 06-7178-5531
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	289,223	△1.6	24,326	△7.6	28,606	10.0	16,187	3.2
2025年3月期中間期	294,057	7.3	26,336	2.3	25,996	△19.0	15,685	△66.2

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 4,372百万円(△87.9%) 2025年3月期中間期 36,002百万円(△28.3%)

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期中間期	91.88		75.96	
2025年3月期中間期	78.68		66.41	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	750,864		346,997		36.1	
2025年3月期	750,699		350,009		35.9	

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 271,080百万円 2025年3月期 269,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2025年3月期	—	22.00	—	28.00	50.00	
2026年3月期	—	55.00	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	590,000	0.2	51,000	△2.0	55,000	12.0	34,000	△11.2	193.04	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	177,976,280株	2025年3月期	177,976,280株
2026年3月期中間期	1,908,302株	2025年3月期	1,753,087株
2026年3月期中間期	176,182,279株	2025年3月期中間期	199,365,124株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4 「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(中間連結損益計算書)	7
(中間連結包括利益計算書)	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当期における世界経済は、緩やかな回復基調がみられたものの、地政学的リスクの高まりや米国の通商政策などにより、先行きについては不透明な状況が続きました。このような状況下、わが国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、全体としては緩やかな回復が続きました。インドにおいては、個人消費と設備投資を中心とした内需に支えられ堅調な経済成長が続きました。欧州においては、米国による関税引き上げの影響が徐々に顕在化し、駆け込み需要の反動減や関税負担の増加により輸出が減速、生産活動を下押ししました。インフレ率の上昇に加え、エネルギーや人件費などの投入コストも増加し、企業の収益を圧迫する状況が続きました。中国においては、米中間の通商問題や不動産市場の停滞などを背景に景気は足踏み状態となりました。

当社グループの当中間連結会計期間における売上高は2,892億23百万円(前年同期比1.6%減)となりました。営業利益は、販売価格改善や原価低減などの施策を推進したものの、固定費の増加などにより、243億26百万円(前年同期比7.6%減)となりました。経常利益は為替差益の計上や超インフレ会計による正味貨幣持高に係る損失の減少などにより、286億6百万円(前年同期比10.0%増)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、減損損失や事業撤退損などの一過性の特別損失の計上により、161億87百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

《日本》

自動車分野では、自動車生産台数は前年を下回ったものの、販売価格の改善に取り組んだことにより、売上高は前年を上回りました。工業分野も拡販活動の成果により、売上高は前年を上回りました。一方、建築分野及び防食分野では、市況低調の影響により売上高は前年を下回りました。船舶分野では、足元の需要が前年を下回る水準で推移したことにより、売上高は前年を下回りました。セグメント利益は、主に自動車及び工業分野で前年を上回った一方、建築、防食及び船舶分野で前年を下回ったことから、全体では前年並みとなりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は799億48百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益は107億81百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

《インド》

建築分野では、市場競争の激化や低価格品へのシフトにより売上高は前年を下回りました。自動車分野では、自動車生産台数の増加により現地通貨ベースの売上高は前期を上回りましたが、円高による為替換算の影響により、インド全体の売上高は前年を下回りました。セグメント利益は、減収に加えて人件費等の増加も影響し、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は701億65百万円(前年同期比6.9%減)、セグメント利益は72億63百万円(前年同期比13.6%減)となりました。

《欧州》

トルコでは、主要顧客の自動車生産台数が前年を下回り、売上高は前年を下回りました。その他欧州各国においては、前年に行ったボルトオン型M&Aの寄与もあり、売上高が前年を上回った結果、欧州全体の売上高は前年を上回りました。セグメント利益は、原材料価格が安定して推移し、また持分法による投資損失は改善したものの、インフレの影響により人件費などの固定費が増加したことにより前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は792億22百万円(前年同期比3.8%増)、セグメント利益は5億11百万円(前年同期比31.1%減)となりました。

《アジア》

中国では、自動車生産台数は前年を上回り、売上高は前年を上回りました。一方で、タイ及びマレーシアでは、自動車生産台数減少の影響を受け、アジア全体の売上高は前年を下回りました。セグメント利益は、自動車分野の減収の影響を受け、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は327億77百万円(前年同期比2.2%減)、セグメント利益は51億13百万円(前年同期比0.9%減)となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国は、慢性的な電力不足や政情不安が続く中であっても、前年から新規顧客の獲得の寄与もあり、売上高は前年を上回りました。東アフリカ地域では、主力の建築分野に加え、工業分野においても売上高は堅調に推移しました。セグメント利益は、増収の主要因である東アフリカ地域の建築分野の事業拡大により、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は225億73百万円(前年同期比4.8%増)、セグメント利益は22億35百万円(前年同期比29.8%増)となりました。

《その他》

北米では、自動車生産台数が前年を下回り、売上高は前年を下回りました。セグメント利益については、減収の影響に加え、持分法による投資利益も減少したことなどにより、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は45億35百万円(前年同期比16.9%減)、セグメント利益は9億92百万円(前年同期比52.4%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産合計は、3,534億30百万円(前連結会計年度末比21億円減)となりました。流動資産の減少は、主に受取手形、売掛金及び契約資産が増加したものの、現金及び預金、有価証券、商品及び製品などが減少したことによるものであります。

② 固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産合計は、3,974億34百万円(前連結会計年度末比22億65百万円増)となりました。固定資産の増加は、主に無形固定資産は減少したものの、有形固定資産が増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債合計は、1,846億29百万円(前連結会計年度末比75億79百万円増)となりました。流動負債の増加は、主に支払手形及び買掛金や短期社債が減少したものの、短期借入金などが増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債合計は、2,192億37百万円(前連結会計年度末比44億2百万円減)となりました。固定負債の減少は、主にその他固定負債などが減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

当中間連結会計期間末における純資産合計は、3,469億97百万円(前連結会計年度末比30億12百万円減)となりました。純資産の減少は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金は増加したものの、為替換算調整勘定などが減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ62億24百万円減少し569億23百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比119億66百万円収入が増加し、153億42百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益279億53百万円、減価償却費105億9百万円などの収入、売上債権の増加額143億97百万円、法人税等の支払額105億78百万円などの支出によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比214億82百万円支出が減少し、78億69百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出額109億13百万円、無形固定資産の取得による支出額22億20百万円などの支出によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、111億37百万円(前年同期は97億46百万円の収入)の支出となりました。これは主に、社債の発行による収入額2,029億15百万円などの収入、社債の償還による支出額2,059億12百万円、配当金の支払額49億80百万円、非支配株主への配当金の支払額34億59百万円などの支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、本日(2025年11月7日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,656	68,865
受取手形、売掛金及び契約資産	120,858	132,417
有価証券	32,489	29,177
商品及び製品	59,053	55,387
仕掛品	8,642	8,769
原材料及び貯蔵品	44,233	45,211
その他	19,588	19,295
貸倒引当金	△5,992	△5,694
流動資産合計	355,530	353,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	76,498	78,774
その他 (純額)	107,300	109,497
有形固定資産合計	183,798	188,271
無形固定資産		
のれん	35,711	33,610
その他	44,811	44,814
無形固定資産合計	80,522	78,425
投資その他の資産		
投資有価証券	57,907	58,500
その他	78,207	77,491
貸倒引当金	△5,267	△5,254
投資その他の資産合計	130,847	130,737
固定資産合計	395,168	397,434
資産合計	750,699	750,864

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,218	81,646
短期借入金	11,895	18,045
短期社債	31,985	28,988
未払法人税等	5,348	6,852
賞与引当金	5,932	5,746
その他	36,668	43,349
流動負債合計	177,049	184,629
固定負債		
社債	60,000	60,000
転換社債型新株予約権付社債	100,472	100,412
退職給付に係る負債	7,331	7,876
その他	55,835	50,947
固定負債合計	223,639	219,237
負債合計	400,689	403,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	18,343	18,365
利益剰余金	186,659	198,732
自己株式	△2,101	△2,533
株主資本合計	228,560	240,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,451	15,306
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	19,615	7,498
退職給付に係る調整累計額	8,562	8,053
その他の包括利益累計額合計	40,628	30,857
新株予約権	224	248
非支配株主持分	80,595	75,668
純資産合計	350,009	346,997
負債純資産合計	750,699	750,864

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	294,057	289,223
売上原価	200,945	195,987
売上総利益	93,111	93,235
販売費及び一般管理費	66,774	68,909
営業利益	26,336	24,326
営業外収益		
受取利息	846	1,042
受取配当金	385	357
持分法による投資利益	2,609	2,573
為替差益	—	1,921
雑収入	1,616	1,488
営業外収益合計	5,457	7,383
営業外費用		
支払利息	1,464	1,405
棚卸資産廃棄損	92	128
為替差損	2,310	—
正味貨幣持高に係る損失	1,403	1,004
雑支出	526	566
営業外費用合計	5,798	3,104
経常利益	25,996	28,606
特別利益		
固定資産売却益	96	388
減損損失戻入益	188	—
投資有価証券売却益	1,940	876
特別利益合計	2,225	1,265
特別損失		
固定資産除売却損	19	93
減損損失	—	680
投資有価証券評価損	0	—
事業撤退損	—	655
早期割増退職金	4	489
特別損失合計	24	1,918
税金等調整前中間純利益	28,197	27,953
法人税等	9,893	9,966
中間純利益	18,304	17,987
非支配株主に帰属する中間純利益	2,619	1,799
親会社株主に帰属する中間純利益	15,685	16,187

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	18,304	17,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,608	1,394
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	18,335	△13,583
退職給付に係る調整額	△470	△508
持分法適用会社に対する持分相当額	2,442	△915
その他の包括利益合計	17,697	△13,614
中間包括利益	36,002	4,372
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	31,014	6,416
非支配株主に係る中間包括利益	4,988	△2,043

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	28,197	27,953
減価償却費	9,648	10,509
減損損失	—	680
減損損失戻入益	△188	—
のれん償却額	2,543	2,595
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31	△101
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,020	△964
受取利息及び受取配当金	△1,232	△1,400
支払利息及び社債利息	1,464	1,405
持分法による投資損益(△は益)	△2,609	△2,573
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,940	△876
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
固定資産除売却損益(△は益)	△77	△295
売上債権の増減額(△は増加)	△12,729	△14,397
棚卸資産の増減額(△は増加)	△786	1,400
仕入債務の増減額(△は減少)	242	△1,380
その他	△1,099	519
小計	20,447	23,075
利息及び配当金の受取額	5,359	5,414
利息の支払額	△1,587	△2,568
法人税等の支払額	△20,844	△10,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,375	15,342
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,153	△4,131
定期預金の払戻による収入	3,224	4,754
有価証券の純増減額(△は増加)	2,830	3,118
有形固定資産の取得による支出	△9,607	△10,913
有形固定資産の売却による収入	175	663
無形固定資産の取得による支出	△2,927	△2,220
投資有価証券の取得による支出	△11	△183
投資有価証券の売却による収入	1,782	879
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△19,400	—
貸付けによる支出	△28	△31
貸付金の回収による収入	33	29
その他	△268	165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,351	△7,869

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,187	1,532
長期借入れによる収入	1,518	242
長期借入金の返済による支出	△8,376	△72
社債の発行による収入	231,981	202,915
社債の償還による支出	△150,986	△205,912
自己株式の取得による支出	△60,005	△487
配当金の支払額	△4,629	△4,980
非支配株主への配当金の支払額	△4,110	△3,459
非支配株主からの払込みによる収入	4,313	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△74	△58
その他	△1,072	△855
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,746	△11,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,841	△2,560
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,387	△6,224
現金及び現金同等物の期首残高	70,952	63,147
現金及び現金同等物の中間期末残高	59,564	56,923

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	81,890	75,325	76,311	33,530	21,541	288,599	5,457	294,057	—	294,057
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	7,524	64	110	1,397	103	9,200	—	9,200	△9,200	—
計	89,414	75,389	76,421	34,928	21,645	297,799	5,457	303,257	△9,200	294,057
営業利益	10,148	8,464	1,981	3,132	1,617	25,343	1,000	26,343	△7	26,336
持分法投資利益又は 損失(△)	690	△56	△1,238	2,024	105	1,525	1,084	2,609	—	2,609
セグメント利益	10,838	8,407	742	5,157	1,722	26,868	2,084	28,953	△7	28,946

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益に持分法による投資損益を加減した金額と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
 アジア……インドネシア、タイ、中国等
 アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	79,948	70,165	79,222	32,777	22,573	284,687	4,535	289,223	—	289,223
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	7,958	46	111	1,458	50	9,625	—	9,625	△9,625	—
計	87,907	70,212	79,333	34,236	22,623	294,313	4,535	298,848	△9,625	289,223
営業利益	10,033	7,301	1,332	3,136	2,178	23,982	342	24,324	1	24,326
持分法投資利益又は 損失(△)	747	△37	△820	1,977	56	1,924	649	2,573	—	2,573
セグメント利益	10,781	7,263	511	5,113	2,235	25,906	992	26,898	1	26,900

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益に持分法による投資損益を加減した金額と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
アジア……インドネシア、タイ、中国等
アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等